

屋根除雪作業を安全に!!

その1

平成24年度は十日町労働基準監督署管内で屋根除雪作業中の墜落による労働災害だけで8名の方が重傷を負われました。

当署に情報などがあった墜落防止対策を紹介しますので参考にして下さい。

なお、今回は速報となっていますので随時、情報をご提供していきます。



大屋根に塔屋を増築して、屋根へのアクセスを簡単にする方法

雪桶を使用すれば、軒先まで行かずに除雪が始められるため安全です。

熊木建築 熊木昌三氏 考案

※増築にあたり強度検討・地域的に建築制限がかかっている場合があるので、建築士などへ相談が必要です。



《十日町新聞 平成 25 年 2 月 25 日号 3 面記事より抜粋》

安全雪下ろし「命綱屋根アンカー」完成 太田良蔵氏が開発



雪国の危険作業「屋根の雪下し」で、除雪作業を安全に進めるために最も大きな課題となっていた「命綱を繋ぐアンカーシステム」をこのほど、市内錦町2丁目の太田良蔵さん(78)が完成させた。「太田式命綱屋根アンカーシステム」は、トタン屋根の頂点部に長さ約10メートルの単管を高さ約1メートルの位置に固定設置することで、簡単に命綱を接続できる工夫が施されている。制作費用は約3万円と安価で、設置代もプラス約1万5千円程で済み、簡単手軽に命が守れ、安心して作業ができるようになると話題を呼んでいる。(写真:完成したアンカーシステムと太田さん)

屋根除雪安全作業指針～抜粋～(新潟労働局 策定)

2 作業指揮者

2-1 作業指揮者の選任

- (1) 作業は原則として2人以上で行う。
- (2) 屋根除雪作業指揮者安全教育を修了したもののうちから、作業指揮者を選任する。

2-2 作業指揮者の職務

作業指揮者は次の事項を行う。

- (1) 作業開始に当たって、あらかじめ次の事項を調査しておく。
 - イ 屋根除雪対象建物の屋根の構造、雪止めの位置、安全帯の取付け設備、昇降設備、降雪前の周囲の状況等。
 - ロ 積雪、雪庇の状況、雪おろし場所等
- (2) 作業方法、順序、作業者の配置、合図方法の決定、除雪用具の選定を行う。
- (3) 作業開始前に安全作業打合会を開き、作業方法、作業者の配置、除雪用具の使い方等必要な事項を打合せ徹底する。
- (4) 作業を直接指揮するとともに、保護具の使用状況を監視する。
- (5) 作業終了時には、作業人員、除雪用具の点検その他、後片付けの確認を行う。

新潟労働局 HP に全文の掲載があるのでご覧下さい。

屋根除雪作業を安全に!!

その2

屋根除雪作業中の墜落防止対策について、当署にありました情報をご紹介しますので参考にして下さい。

今後も新しい情報入手しましたら、随時、ご提供していきます。

安全ブロックと安全帯を併用した例

※墜落しそうになった時に車のシートベルトのように命綱がロックされます。

提供：(株)丸山工務所



※安全ブロックについて

安全用品の専門店、インターネットなどでご購入いただけます。
なお、ご購入の際は、命綱の長さ、重量なども考慮して下さい。

安全ブロックの例

雪止めから安全帯をとる例

※市販の命綱(ランヤード)で作業範囲を広げ、巻取り式の安全帯と併用することで作業性を向上させています。

なお、ロープ式の安全帯では落下距離が長くなり危険ですので、必ず巻取り式の安全帯を使用してください。

提供：ヤマザキ工務店・(有)尾身建築



※命綱(ランヤード)について

正規の市販品は長さ1.7mとなっています。
安全用品の専門店、インターネットなどでご購入いただけます。

建物から安全帯をとる例

※建物に金具を埋め込み、そこから命綱を延長して安全帯のフックを使用しています。

十日町労働基準監督署 撮影



※雪樋の使用について

軒先からの墜落を軽減する意味で有効です。使用することをご検討下さい。

作業時の服装について



ヘルメット

墜落時の頭部保護ために使用します。

安全帯（命綱）

安全性の高いハーネス型の安全帯を着用しています。

上着

なるべく軽く活動しやすく、通気性のあるものを選んで下さい。

カンジキ

屋根移動時の滑り止めです。幅23cm、長さ30cm程度で踏み重ならない幅が理想です。